

# H31学力向上アクションプラン(日田市)

## 目標及び指標

### 【目標】

- |   |  |
|---|--|
| <p>① 児童・生徒の課題に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識・技能の定着<br/>小学校(算数)、中学校(数学・英語)</li> <li>○思考力・判断力・表現力の向上<br/>小学校(算数)、中学校(数学・理科・英語)</li> <li>○学びに向かう力の向上<br/>教科の勉強が好き 教科の勉強が分かる<br/>話し合う活動で考えを深め広げる</li> </ul> | <p>② 学校等が抱える組織的・構造的課題に関する目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元・本時のつきたい力を明確にした新大分スタンダード「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」等による組織的な授業改善の徹底。</li> <li>○全国調査B問題等を活用した「知識・技能などを実生活の様々な場面に活用する力」を育成する授業改善の全学年での推進</li> <li>○学力調査(全国、県)結果の課題解決に向けた改善策(授業改善等)の検証・改善の徹底</li> <li>○「中学校学力向上対策3つの提言」の【提言3】学習集団としての目標設定と振り返り活動の徹底。</li> <li>○資質・能力の育成に効果のある「授業改善」「家庭学習」「補充学習」「テスト」等の検証・改善の組織的な取組の推進。</li> </ul> |
|---|--|

### 達成指標

### 取組指標

<p>○平成31年度学校評価の4点セットの重点目標(学力)の評価(1学期末)全小中学校平均値(4段階) 3.6</p>	<p>○小・中学校全教員は、「新大分スタンダード」と自校の「授業改善の5点セット」の「取組内容」に基づいた公開授業を、単元プランと本時案略案を作成して、11月までに実施する。【授業を公開した教員の割合 100%】</p> <p>○小・中学校の算数・数学を指導する全教員は、全国調査の算数・数学B問題等を活用し、「知識技能等を実生活の様々な場面に活用する力」やを育成する授業を、「算数・数学の学習で説明する力を伸ばす基本形」を利用して、学期に2回以上実施。</p>
<p>○平成31年度学校評価の4点セットの達成指標(学力)の評価(1学期末)全小中学校平均値(4段階) 3.3</p>	<p>○全小中学校は、全国調査の調査問題を実際に解いて、自校の結果の課題の改善策を見いだす校内研修を行い、その改善策の取組を9月からスタートさせ、12月までに検証・改善する。</p> <p>○全中学校は、「中学校学力向上対策3つの提言」【提言3・視点6】の授業像を生徒と共有し、学習集団としての目標の設定を5月までに行い、振り返り活動を各学期1回以上行う。</p>

## 行動計画

### ①「新大分スタンダード」に基づく組織的・計画的な授業構想と実施による質の向上について

- 学校の組織的・計画的な授業改善を徹底するために、各学校は、学期1回以上の互見授業週間を設定し、全教員は、「新大分スタンダード」に基づく授業観察シートを活用し、学期に1回(年間3回以上)授業を観察する。
- 新学習指導要領を踏まえ、つきたい力を明確にした新大分スタンダードに基づく組織的・計画的な授業改善を徹底するために、小・中学校全教員は、「新大分スタンダード」と自校の「授業改善の5点セット」の「取組内容」に基づいた公開授業を、単元プランと本時案略案を作成して、11月までに実施。
- 児童生徒の「学びに向かう力」と「思考力・判断力・表現力」を向上させるために、小・中学校の算数数学を指導する全教員は、全国調査の算数・数学B問題等を活用し、「知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力」を育成する授業を、「算数・数学の学習で説明する力を伸ばす基本形」を利用して、学期に2回以上実施する。
- 学力調査(全国、県)結果の課題解決に向けた授業改善の組織的・計画的な取組を徹底するために、全小中学校は、全国調査の調査問題を実際に解いて、自校の結果の課題の改善策を見いだす校内研修を行い、その改善策の取組を9月からスタートさせ、12月までに検証・改善する。

### ②「中学校学力向上対策3つの提言」の3つの項目(6つの視点)の実施に関して

- 【提言2:視点3】学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みを構築するために、複数の教科担任のいる中学校は教科部会を、小規模校は近隣の学校との合同教科部会・授業参観・OENメール等による情報交換を月1回以上行い、授業・ワークシート・宿題・テスト等の改善を行う。
- 【提言2:視点4】学校規模に応じた教科指導力向上の仕組みを構築するために、全中学校は、教科担任の「タテ持ち」又は「複数の同教科担任で学年部を指導する」体制をとる。
- 【提言3:視点5】「生徒と共に創る授業」を推進し、生徒による授業評価を授業改善に反映させる取組を構築するために、全中学校は、生徒による授業評価を授業改善に反映させる組織的・計画的な取組を、学期に2回以上行う。
- 【提言3:視点6】「生徒と共に創る授業」を推進し、学校が目指す授業像を生徒と共有し、それに向かう学習集団の目標の設定と振り返りの年度初めからの取組を徹底するために、全中学校は、目指す授業像を生徒と共有し、学習集団としての目標の設定を5月までに行い、振り返り活動を年間4回以上行う。(年度を跨ぐ取組の場合は、年度初めの目標設定でなくても可)
- 「中学校学力向上対策3つの提言」推進重点校(北部中学校)の取組の成果を普及するために、推進重点校の取組の成果を、公開研究発表会や各種協議会等で市内小・中学校に情報提供する。

### ③小学校教科担任制の推進に関して

- 市内小学校は、平成31年度中に、高学年を中心とした「教科担任制」「教科を分担する取組」の自校での推進について検討を行う。
- 主幹教諭・教務主任・研究主任合同協議会において、日田市内の「教科担任制」実施校が取組状況の情報提供を行う。
- 市教委は、県内の小学校教科担任制推進地域及び小学校教科担任制推進教員の取組や県教委からの情報を、市内小学校に提供する。

### ④新学習指導要領の実施等に関して

- 小学校外国語活動について
  - ・市内全小学校で、移行措置の学習内容についての確実な定着と言語活動の充実を目的に、次期学習指導要領による授業時数を確保する先行実施を行う。
  - ・外国語活動の研究指定校の公開研を通して、市内小学校へ研究成果を広げる。
  - ・指導充実のため、ALTの小学校3年生以上への派遣を2週間に1回以上となるように計画する。
- 学校教育目標の明確化、総合的な学習の時間との関連、カリキュラムマネジメント等について
  - ・各学校は、年度初めに作成する「学校教育の方針」を、次期学習指導要領による「資質・能力の3つの柱」で整理し、学校教育目標を設定。
  - ・各学校が学校教育目標と関連させた教育課程の総合的な学習の時間の目標を作成し、地域の実情や学校の特色を踏まえた探究活動が実施されているかの検証を行う。
- プログラミング教育について
  - ・平成31年度の教育課程にプログラミング教育の時間を位置づける。また、小学校総則部会において、プログラミング教育の研修や、平成32年度の教育課程への位置づけ方の検討・情報交換を行う。
  - ・日田市教育センターの夏季研修で、プログラミング教育講座を行い、実践的な研修の機会を設ける。